

諏訪湖から流れ出るたった1本の天竜川。この川は岡谷市湊地区の釜口水門に端を発する。水門下流、天竜橋を少し進んだ先左斜面へ上って行く坂道があり、この道に「鯨坂」と何とも妙な名前がついている。

道を歩くと坂の途中に「鯨坂と音坊」の説明板があるから間違いない。享保18年(1733)頃描かれたとされる『諏訪藩御手元絵図』に「鯨坂」と書き込まれていて驚く。なぜ坂道にこのような名前が付いているのか。

昔、諏訪湖に大きなナマズが住んでいた。このナマズ、時々天竜川の河口に来て魚類を荒らし、小魚を食べ、時には漁師に襲いかかった。そんな事が続く中、山手の御堂小屋付近に住んでいた力持ち

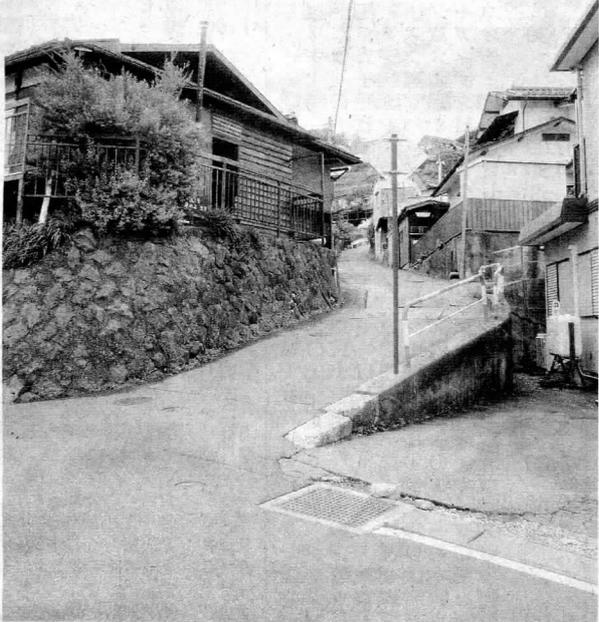
で大男の音坊が退治してやろうと河口で待っていた、何も気付かぬ大ナマズがやって来た。音坊はすかさず川に飛び込み上へ下への大格闘の末、大ナマズを捕まえた。大ナマズは大縄で縛り上げられ坂道を音坊に担がれ上って来た。

大ナマズが逃げようと跳ねたところ、たん縄が切れそのまま川の中へ。その時「音坊さらばじゃ」と言ったそう。

ある日、小坂観音院の下で大ナマズが昼寝をしていると観音様の大釣り鐘が崖を転がり落ちて大ナマズの頭にスッポリかぶさってしまった。それからは皆安心して住めるようになり、そしてこの坂を「鯨坂」と呼ぶようになったと伝えられている。…続く

川 随時掲載

釜口水門下流の天竜川左岸の天竜橋近くから始まる急坂「鯨坂」



詳しい場所などの問い合わせは
諏訪塾事務局(電話070・83
23・2107)へ。

ぶらり諏訪塾の冊子は
諏訪市観光案内所

(JR上諏訪駅内)
れすとらん割烹いずみ屋
(諏訪市諏訪)

書店「言事堂」
(諏訪市末広)

すわ大昔情報センター
(諏訪市博物館内)

諏訪書店(通販のみ)
57・0997

柏屋カフェ&ギャラリー
(諏訪市中洲神宮寺)

で販売中です。

今回の筆者

涌井みち子さん



立川流建築彫刻研究者でス
ポーツインストラクターと
しても活動しています